

令和6年度奥州市こどもの居場所・こども食堂研修会開催要項

1 目 的

こどもの居場所づくりや世代間交流を目的に奥州市でも地域に即した形で、こども食堂への取組が広がっています。地域活動の一環として、多くの地域の方々が参画しながら、気軽に取り組める活動として地域に根付いていくよう奥州市社会福祉協議会でも開設支援や運営支援を行っています。そこで、講演や市内のこども食堂の取組事例紹介を通して、こども食堂への取組に対して理解を深めるための研修会を開催します。

2 内 容

こども食堂支援者による講演

奥州市内のこどもの居場所、こども食堂団体による活動事例紹介

3 日 時

令和7年2月13日（木）13時30分～15時30分

4 場 所

奥州市総合福祉センター 研修室

5 主 催

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

6 対 象

こどもの居場所・こども食堂運営関係者、地区振興会関係者、地域の居場所づくり・こども食堂運営に興味関心のある方、一般市民 定員50名

7 日程及び研修内容

13:30 開会行事

主催者挨拶 奥州市社会福祉協議会会長 田面木 茂 樹

13:35 講 演

演 題 「こども食堂からはじめる地域の居場所づくり（仮題）」

講 師 認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

チーム山形プロジェクトリーダー 石 山 由美子 氏

15:00 活動事例紹介

(1) 堤尻自治会 子ども食堂 佐藤 明子 さん（水沢真城地区）
月に一度、季節のイベントを実施しながら多世代交流を行っている。

(2) みんなの家 みんなの食堂 三田 幸絵 さん（水沢南地区）
長期休暇等を活用して居場所作りを行っている。料理体験や音楽会など幅広く活動をしている。

15:30 閉 会

【講師プロフィール】

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
チーム山形プロジェクトリーダー 石山 由美子 氏

大学卒業後、金融機関に勤務。夫の転勤により退職し、ベトナム社会主義共和国へ。NGOの活動と出会う。帰国後、日本語教師として外国人配偶者や外国にルーツを持つ子どもたちに日本語教育支援を行う。また彼（彼女）らの抱える課題解決のため市民活動に関わる。

2007年より、中間支援NPOで市民活動・NPO法人の運営マネジメント、地域コミュニティ支援に携わり、現在も山形県の中間支援NPOで活動。全国NPO事務カンファレンス認定講師、准認定ファンドレイザー、中間支援ファンドレイザー。2022年より現職。東北地方のこども食堂ネットワーク支援などを中心に活動中。

8 申込み方法

様式に必要事項を記入の上、令和7年1月31日（金）までに、FAXまたはメールにてお申し込みください。

9 問合せ・事務局

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会 こども福祉課

〒023-0851 奥州市水沢南町5-12 / TEL：0197-25-6158 FAX：0197-25-6690

E-mail：kodomu@oshu-shakyo.jp

10 その他

申込み様式は、奥州市社会福祉協議会こども福祉課（奥州市総合福祉センター）にあります。また、奥州市社会福祉協議会ホームページまたは下記QRコードにアクセスし、ダウンロードして使用も可能ですのでご利用ください。

